第１学年２組　生活科学習指導案

１　単元名　しぜんと　ともだち２（ふゆのあそびを　たのしもう）

２　本時の学習指導

（１）目標

◎　自分たちで作ったたこ、風車、羽根つきの新しい遊び方を考え、みんなで遊んだり、風などの冬の自然を利用したりする遊びを楽しむことができるようにする。

（２）展開

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 児童の活動・意識 | 評価（●）と支援（〇） | 準備 | 時間 |
| １　前時の活動を振り返り、実際にもう一度遊んでみる  ２　自分がどのような遊び方をしていたのか振り返り、本時の活動に見通しを持つ。  ・たこは一人で走って飛ばしていたよ。  ・羽根つきはあんまり続かないや。  ・風車も一人で回していたよ。  ３　新しい遊び方を考え、友だちと話し合う。  ・たこの飛んだ高さで競走するのはどうかな。  ・羽根つきは、円になってやったらどうだろう。  ・風車は風の向きを誰が見つけられるか競争しよう。  ４　本時のまとめをする。 | ○　片付けの時間を始めに指示しておく。  ○　おもちゃが壊れてしまっても直せるように銀ラックを出しておく。  ○　これまでどのような遊び方をしていたか振り返ることができるようにする。  ○　新しい遊び方を考えるという本時の活動を明確にする。  ●　前時までの活動を振り返り、自分たちがどのように遊んでいたか話し合うことができている。  　　（関心・意欲・態度）行・発・つ  〇　一人で遊ぶのではなくみんなで遊ぶことができ　　　　　たり、風などの自然を感じることができるような遊　びを考えることができたりするよう促す。  〇　児童の発言は、黒板に整理して書く。  〇　意見があまり出ない場合は、みんなで一緒に遊ぶに　　　はどうしたらよいか、風を生かして遊ぶにはどうしたらよいかなどの観点を提示する。  ●　前時までの遊び方を振り返り、みんなで遊んだり、自然を感じたりできるような遊び方を考えることができている。  　　（思考・表現）発・つ  ●　新しい遊び方の楽しさから、これまで気づくことができていなかった自分たちのおもちゃの良さに気付くことができる。  　　（気付く）発・つ・作   * 新しい遊び方を考えたことで、次回の活動が楽しみになることができるようにする。 | ・教科書  ・前時までに作成したおもちゃ | ２０  ５  １０  １０ |

３　板書計画